

クローズアップ



楽しいイベントがめじろ押し

8月28日・29日の2日間、総合福祉会館で生涯学習フェスティバルを開催しました。市民ステージや各町の広報紙の展示、よろいの試着、昔遊びのおもちゃ作りなどを実施。家族や友達同士など多くの人が訪れ、みんな時間を忘れて楽しんでいました。



的確な対応をするために

9月2日、宮城体育館駐車場で集団救急事故合同演習を実施。消防隊員や医師、看護師ら112人が参加しました。震度6の大規模な地震による災害を想定し、一刻を争う事態に各機関が連携して対応できるよう訓練しました。



高原をさっそうと駆け抜ける

8月29日、第29回あかぎ大沼・白樺マラソンを赤城山大沼湖畔で開催。全国から参加した2,510人のランナーが、沿道からの声援を受け、さわやかな高原をさっそうと駆け抜けました。

中国の鄭州で行われた、日・韓・中ジュニア交流競技会のラグビー競技に、U-17日本代表として出場。日本代表チームは、8月25日の中国戦、26日の韓国戦とも勝利を収めた。 「初めての海外試合でしたが、自分たちの力を試したい気持ちが大きかったせいか、緊張はしませんでした」 ポジションはバックスの左ウイング。抜群のスピードとテクニックで1トライずつ決め、勝利に貢献しました。

「両チームとも体が大きい選手が多くたけれど、ひるむことなく自分たちのペースで試合を運ぶことができました」 ラグビーを始めたのは小2の時。友達に誘われて前橋ラグビースクールに入った。始めたころは楽しさに

夢中だったが、続けていくうちに辞めたいと感じることもあったという。 「なんとなく続けていいだけの状態が嫌だったんです。でも、中3の時に全国大会に出場して、自分に全国に通用する力があるんだと分かってからは、その気持ちはなくなりました」 現在は明和県央高のラグビー部で、毎日の練習に励む。将来のことを尋ねると、まだ迷っていると答えた。

「ラグビーはもちろん好きだけれど、スポーツトレーナーにもあこがれています。いろいろな可能性に挑戦しながらゆっくり考えていきたいです」 まだまだ夢のある16歳。大好きなラグビーを楽しみながら、未来への道を突き進んでいってほしい。

初めての海外試合でも堂々と

いきいき
まえばし



ラグビーU-17日本代表
高 悠也さん・16歳
若宮町三丁目

伝統を守り向上を

わたしたちの学校

五中



心を込めて花壇づくり

これらの活動は、五中を自分たちでつくり上げていくという意志の下、生徒全員で行っています。これからも互いに話し、協力し、競い合うことで、一人一人が向上できる、輝く五中を目指して頑張っています。



みんなの思いを掲示

生徒会長 斎藤 佳奈子さん